

経営比較分析表（令和6年度決算）

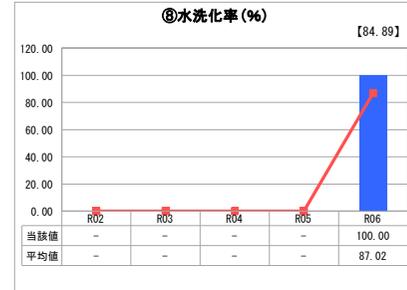
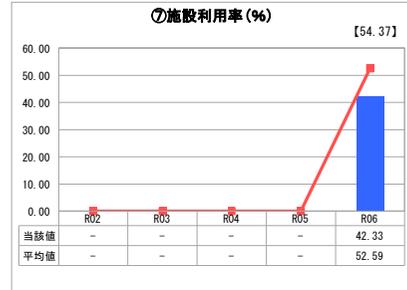
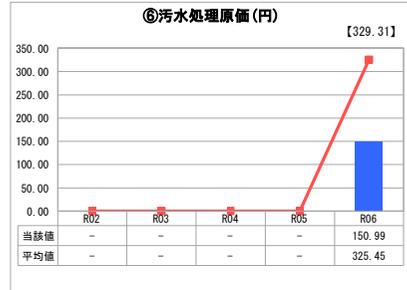
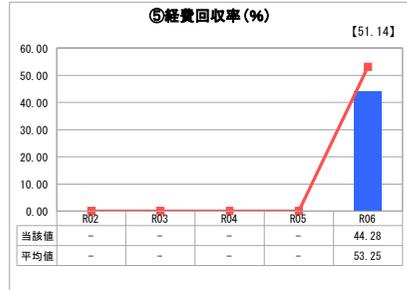
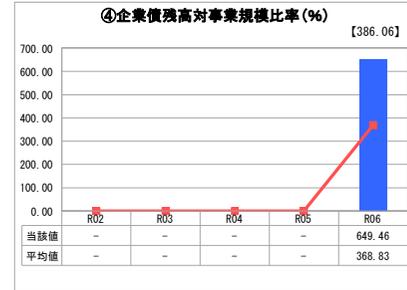
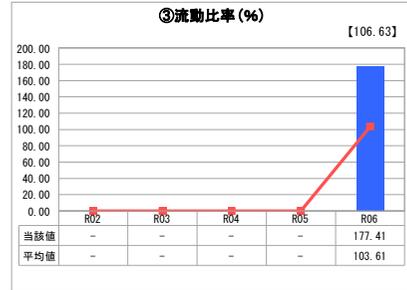
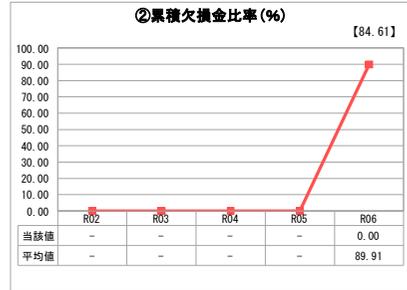
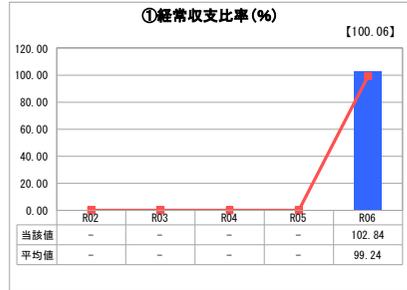
埼玉県 秩父市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	57.99	10.75	100.00	1,210

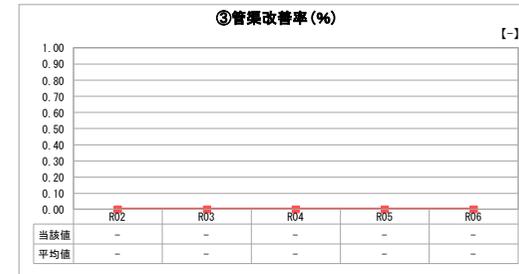
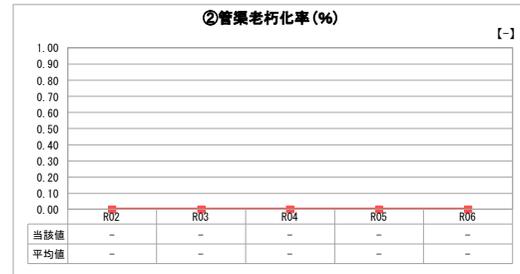
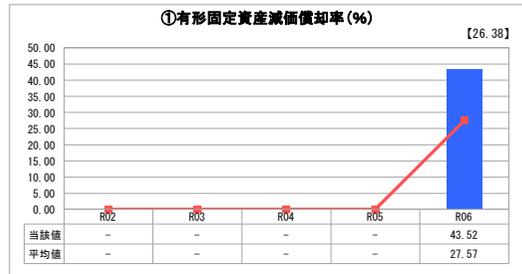
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
57,212	577.83	99.01
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,109	0.31	19,706.45

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
【】 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①経常収支比率 ⑤経費回収率
経常収支比率は100%を上回っているものの、経費回収率が100%を下回っていることから、赤字分を一般会計からの繰入金で補填している現状である。今後は独立採算体制の強化に向けて、使用料改定を検討する必要がある。
- ②累積欠損金比率
累積欠損金は発生していない。
- ③流動比率
100%を上回っており、類似団体平均も上回っている。今後も安定した現金の確保に向け、効率的な運営に取り組んでいく。
- ④企業債残高対事業規模比率
類似団体平均と比較して高い水準となっている。新規借り入れの抑制や使用料の見直し検討により、計画的な企業債償還に努めていく。
- ⑥汚水処理原価
類似団体平均と比較して低い水準となっている。これは、本市では浄化槽の維持管理費のうち、清掃費用を各戸使用者の負担としていることにより、他団体よりも汚水処理費が抑えられていることに起因している。
- ⑦施設利用率
類似団体平均と比較して低い水準となっている。これは事業区域に山間地域が多く含まれており、処理区域内人口が減少傾向にあることから、現在平均処理水量が低減していることが要因となっている。
- ⑧水洗化率
本市では設置申請に基づく整備を行っているため、100%となっている。

2. 老朽化の状況について

- ①有形固定資産減価償却率
本市の特定地域生活排水処理事業の開始は平成11年度と全国的にも早期となっており、管理している浄化槽のうち古いものは既に25年が経過している。そのため他団体よりも減価償却が進行しており、経年劣化に伴う故障が度々発生している現状となっている。
修繕費は使用者負担としているため、老朽化による財政負担は少ないものの、水環境保全の観点から今後耐用年数を経過する浄化槽本体の更新についても検討を行う必要がある。

全体総括

本市の特定地域生活排水処理事業は令和6年4月1日から法適用となっている。
現状、一般会計による赤字補填の基準外繰入金に頼りながら事業黒字を達成している側面があることから、今後は使用料の見直しを求められている。
また、公共用水域の保全や生活環境の向上のため、老朽化した浄化槽の管理や単独処理浄化槽の転換促進に向けた取り組みを継続する。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。